

漢方風呂、漢方薬（お茶）、漢方の塗り薬。

3つの相乗効果を実感された方の手記。

「患者さんへのアドバイス（漢方薬服用について）」

臼井悠人（お母様記述） 3歳

2016年6月29日

2ヶ月程前、完治ではない中途半端な状態で手記を提出してしまったのですが、後日談があり、他の患者様の参考になると思ったので追加させていただきます。

前回の診察で先生に「まだ治りきってはいません。」と伝えると、先生は私が塗り薬と漢方風呂を購入するわりに漢方薬をあまり買っていないことにすぐ気付かれ、「お茶を飲まないで完治は遅れます。」と言われました。そうなんです、子供があまり飲まなかった事と、途中から私がつわりでお茶の香りがだめになってしまい「塗り薬とお風呂で十分効いているからいいや。」と治療開始から半年以降は、お茶だけほぼストップ状態だったのです。その日からすぐお茶も再開。それでも指示される量を毎日飲んではいくれませんでした。効果テキメン、膝、肘周りに少し残っていた赤味がどんどん消えていったのです。今更ながらお茶の効果にびっくりという次第でした。（すみません）

そして前回、先生に「お茶をちゃんと飲ませたら赤味がなくなりました。」と言うと、「お茶を変えます。古い角質がとれやすくなるから。」と新しい漢方薬を処方して下さいました。今度はその新しいお茶にびっくりぎょーてん！アトピーが治った後の茶色くくすんだカサカサした皮膚がどんどん普通の皮膚になっていくのです。これまた指定量以下しか飲んでくれませんでした。それでも飲み始めた翌日にはっきり気づくぐらいきれいになるのです。首周りや背中がいつまでもくすんでいたのですが、それがどんどんなくなっていきました。

それから1ヶ月、今はもうアトピーの痕のようなものはなくなって、すっかりキレイです。アトピーを発症する前の息子の肌がようやく本当に戻ってきたなあと主人とひどかった頃の写真などを見ながら心から喜び合いました。

今思えば、お風呂、漢方薬（お茶）、塗り薬とお世話は大変だったものの、症状がひどい時は必死なので、何とかやってのけていました。しかし症状が軽くなるにつれ喉元過ぎれば・・・というか、先生にも「もうお風呂は週3回ぐらいでいい。」なんて言われたりして、見た目もひどくないので、ついそれを週1回にしたり・・・。お茶を自己判断で勝手にやめてしまったのが、完治が遅れ

た要因だと思います。お茶がこんなに効いていたなんて、本当に今さらながらびっくりでした。私の経験からですが、先生の処方される漢方風呂、漢方薬（お茶）、漢方の塗り薬は、それぞれすごい効き目を発揮してくれますが、三身一体というか3つの相乗効果も大きいのではないのでしょうか。私は勝手にお茶をストップしてしまい、後からお茶の効き目を思い知ったのですが、これから松本医院で治療を受けられる方は、治りかけた時こそ油断せず、治りきらないなあと思ったら、先生に相談されるといいと思います。皆様の回復、完治をお祈り致します。